



THE RECORD

2004.11
No. 540

Essay ~レコードと私~

甲斐 よしひろ (ミュージシャン)

Special Feature

レコード文化に触れよう

- 連載Column: Music & Law
著作権の制限規定 ② 弁護士 前田 哲男

RIA
Recording Industry Association of Japan

社団法人 日本レコード協会

甲斐 よしひろ (ミュージシャン)



甲斐よしひろ(かい よしひろ)

1953年福岡市出身。74年「甲斐バンド」を結成、グループの中心メンバーとして、作詞・作曲・ボーカルを担当。70~80年代を熱く駆け抜けた国民的人気ロックグループとして「HERO/ヒーローになる時、それは今」「安奈」など数多くのヒット・ナンバーを飛ばす。86年のグループ解散後はソロ・アーティストとして活躍。デビュー30周年を迎えた現在も、無骨で男らしい歌唱を武器に、音楽シーンに多大なる影響を与えている。今年9月には、7年半ぶりのオリジナルアルバム「アタタカイ・ハート」をリリースした。

甲斐よしひろオフィシャルサイト：
<http://www.kaisurf.com/>

「辛い時よくHERO聞いていました」とか、「エベレストでもHEROを歌ってました」などという話を、最近メディアを通じてよく聞かされる。前者はバレーボールの三屋裕子さんと、後者は世界的なクライマーの今井通子さんだ。以前はそんなことをあまり言われなかったのになぜだろうと考えたら、ラジオやテレビから大黒摩季とフレンズの歌う「HERO~ヒーローになる時、それは今~」を耳にすることが多かったからだろうと気がついた。

実は、今年8月にリリースされた甲斐バンド&甲斐よしひろトリビュートアルバム「グッドフェローズ」の中の一曲なのだが、大黒さんはまるで自分が書いた曲のように気持ち良く歌ってくれた。このエッセイのテーマでもある「レコードとは何か？音楽とは何か？」の答えになってしまうかもしれないが、トリビュートアルバムのライナーノーツを書してくれた友人の江國香織さんがこう言っている。「音楽はそれが世界に放たれた瞬間から音楽家個人の所有物ではなくなり、みんなのモノになってしまう。そして各々が色々な形で曲を所有し、その人の人生とともにあり、好きなときに思い出し、口ずさむ」。だから「HERO」はもはや三屋さん、今井さん、大黒さん、江國さんそしてこの曲を所有してくれたみんなのモノなのだ。

トリビューターたちがそれぞれの曲をどのように所有してくれていたのか、そしてオリジナルをどれだけ綺麗に裏切ってくれるか、とても楽しみだった。「安奈」を歌ってくれたソフィアの松岡充君がこう言っていた。「『安奈』をリアレンジするのではなく、全く新しい『安奈』を作る。なぜなら完成されてくれているからだ。だから生意気だがあの

名曲をぶっ壊すところからスタートした」と……。そして出来上がった松岡君の「安奈」を聞いていて、79年にあの曲を作った時の事を思い出してしまった。実はツアーの疲れを癒すために函館のバーに一人で入り、飲みかけのグラスの下にあったコースターに、思いついたフレーズを1コーラスだけ走り書きした。そしてジーンズの後ろのポケットにしまい込んだまま3日がたった。東京でのコンサートのあと、渋谷のバーに一人入りコースターを取り出し、2コーラス目を書き足した。なぜ3日間置いたのかというと、自分の頭の中に最低3日くらい残っていない曲はない曲ではない、と決めていたからだった。しかしその間にジーンズを洗濯していたら「安奈」は生まれなかったかもしれない。

このアルバムの偶然の凄さなのだが様々な世代がすべて揃っていることだ。20代のDA PUMP、INSPI、キンモクセイ、30代の松岡充君、山口智充君、高橋克典君、大黒摩季さん、40代のHOUND DOG、m.c.A.T、そして50代の石川セリさんがそれぞれ自分のスタンスで自分の中に楽曲を引き入れ、自分の息づかいで歌ってくれたからだ。1974年に「バス通り」でデビューして以来、30年間やってきたご褒美だと喜んで受け取らせていただいた。11月6日「PARTY 30 in 日本武道館」にも、トリビュートしてくれた多くのアーティストの皆さんが駆けつけてくれ、それぞれ思いのこもった歌を披露してくれた。感謝している。

こうしてはいられない！7年半ぶりにオリジナルアルバム「アタタカイ・ハート」を9月にリリースしたばかりなのだから、1曲でも多くの楽曲をみんなに所有してもらえよう頑張らねば……。

企画・構成：木崎 徹

表紙の楽器

ハーディ・ガーディ

西ヨーロッパで9世紀頃にはその原型がみとめられる民族楽器。パイオリン等と同じ、弦をこすって音を出す擦弦楽器だが、音は弓ではなくハンドル付の回転板を手で回しながら持続的に弦を擦って出す。棹のない胴体に旋律音用と持続音用の2本の弦が張っており、鍵盤状のもので弦を押さえて音程を決める。ヨーロッパの楽器としては珍しく、ギィギィという雑音を出すように作られており、その音がこの楽器の名前の由来という説もある。

Contents

Special Feature	
レコード文化に触れよう	2
連載Column: Music & Law	7
Topics & Information	8
World News Clip	11
Monthly Production Report	12
今月の数字	13
Gold Album+...認定	14

レコード文化に触れよう

レコードは、近代日本にその姿を現して以来、人々の生活のなかにしっかりと根を下ろし、SP、LP、CDへと移りゆくなかで豊かな音楽文化の形成に貢献してきました。レコードが時代とともに育んできた文化は、音楽関係者だけではなく、日本人すべての共有財産であり、大切に受け継いでいくべきものです。今回は、レコードや音楽産業に関わる貴重な文化的資料を保全し、未来へ伝えていく拠点をご紹介します。

訪問当日は、特別展示の準備でちょうど休館日。貸切状態で、スタッフの安江貴子さんに館内をご案内いただく。右手のエレベーターでいきなり3階へ。年配の来館者が多いため、いったん上がってから下りるルートで案内するそうである。細かい配慮を感じる。

3階のフロアには、エジソンの発明した最初期の蝸管蓄音器モデルや稀代の銘品のほか、明治期から大正、昭和の各時代を彩った多様な蓄音器が整理・陳列され、その変遷を振り返ることができる。ビデオガイド、パソコン画面で歴史や仕組みを学ぶ機能も充実し、蓄音器の醸す時代の雰囲気にとスッと入っていける。

2階は音のフロアで、レコード文化に浸る空間である。一面にさまざまな蓄音器が並べられ、一方の壁面に年代物の貴重なSPレコードが展示されている。ここでは、1日に3回、実際にレコードをかけて、来館者に蓄音器の音を聴き比べてもらうサービスを行うそうだ。解説を受け、貴重な音声や往事の名演を聴かせていただいた。

「凄いですね」

フロア全体に鳴り響く大迫力のシンフォニーに、思わずシンプルな感嘆の言葉が漏れる。その音量と音色の美しさには、新鮮な驚きがあった。

1階の奥にはコンサートサロンがあり、各種の催しが随時行われるという。図らずも今回は映画に関する特別展示を鑑賞させていただくことができた。

蓄音器のやわらかく暖かい音色を今に

「金沢蓄音器館」は、古都・金沢のなかでも特に明治・大正期の雰囲気の色濃く残す街の一角にあります。かつて生命保険会社だった、3階建ての風雅な洋館を改装した同館では、蓄音器540台、SPレコード2万枚という国内屈指の「山蓄コレクション」を公開しています。周辺には「泉鏡花記念館」や「菓子文化会館」もあり、文化の薫り高い金沢の新名所として注目を集めています。

来館者に貴重なSPコレクションを実際に蓄音器で聴かせるサービスを提供するほか、各種イベント、特別展示も開催し、蓄音器を軸とする音楽文化の発信地ともなっています。

同館を訪問し、貴重な蓄音器とSPレコードを鑑賞させていただくとともに、館長の八日市屋典之氏から、開設に至るエピソード、来館者からの反響、多彩な活動などについてお話いただきました。





金沢蓄音器館

さまざまな時代の音楽文化を、息長く、 いろいろな切り口で伝えていきたいですね

金沢蓄音器館
館長 八日市屋 典之氏
(株式会社ヤマチク 代表取締役)

Q 金沢蓄音器館はどういった経緯でできたのでしょうか？

A 私の父(故・八日市屋浩志氏)が、集めた「山蓄コレクション」がベースになっています。父が蓄音器を収集し始めたのは、昭和50年代半ば頃のことでした。ある時、道端に古い蓄音器が粗大ゴミとして捨てられていたのですが、祖父の代に営んでいた「山田屋蓄音器専門店」の店番を務め、同型の蓄音器を売っていた父にとって、見過ごすのはあまりに忍びなく、いたたまれなかったのでしょうか。レコード店になっていた家に持ち帰ってきたのです。昔取った杵柄で修理してみると、懐かしい音を再生できた。それ以来、国内の骨董・古道具屋はもとより、海外まで出かけて熱心に蓄音器やSPレコードを集め始めました。壊れたものをすべて自分で修理し、かつての音を取り戻させては、少年のように目を輝かせていたことを思い出します。

その後、無償で提供くださる方も出て、平成10年頃には540台もの蓄音器、およそ2万枚のSPレコードが集まり、「山蓄コレクション」として知られるようになりました。このコレクションは、RIAJに加盟するレコード会社各社からの協力も得て、貴重な歴史的財産として散逸しないように金沢市に管理していただくことになり、平成13年(2001年)7月、「金沢蓄音器館」がオープンしたのです。

Q 蓄音器にかける想いが伝わってきます。実際に蓄音器を聴かせていただき、100年も前の音の迫力に驚きました。

A 蓄音器はすべて、演奏できるようにメンテナンスしてあります。蓄音器は油をさせば、100年以上でも持ちます。発売当時、家二軒が建ったというほど高価な品や希少価値の高いもの、家具調タイプ、宮沢賢治が使ったモデル、軍用タイプなど多彩な蓄音器がありますが、どれも味わい深い個性を持っていて、優劣はつけられません。一つひとつの蓄音器から製作者の思いが感じられます。

これらは陳列してご覧いただくだけでなく、音を聴いてもらうことが大切だと思っています。SPレコードは、何百

回も聴いているとダメになると言われますが、貴重な音だからこそ聴かれなければ意味がありません。1日3回の「聴き比べ」のほか、月数回、クラシック鑑賞会などを開催して、蓄音器の奏でるソフトで暖かい音色を楽しんでいただいています。大げさですが、命を削るつもりで提供しています。

Q 来館者の反響はいかがですか？

A 年配の来館者が多いのですが、「聴き比べ」で自分が青春時代に聴いていた音に再び出会い、その懐かしさに涙を流す方もいらっしゃいます。先日は、40代のご夫妻が来られ、お父さんがよく聴いておられたというビング・クロスビーのホワイトクリスマスをおかけしたところ、在りし日の姿を思い出されて涙を浮かべられました。

当館では、多くの人に大量に届け、消費されることなく、一人ひとりに、かけがえのない思い出を感じていただくことを大事にしています。これは、現代を豊かに生きる姿勢に通じ、いわゆる「スローライフ」に合っていると思います。

また若い方は、音の良さに新鮮に驚かれる方が多いですね。蓄音器の音を手軽に楽しんでもらうために父が考案したCDの音を蓄音器の音に変換する機器と、それを使って日本コロムビア(現コロムビアミュージックエンタテインメント社)と共同開発したCD蓄音器を販売していますが、若い方にも人気があります。



Q イベントや特別展示にも力を入れておられますね。

A 鑑賞会は大変ご好評を頂いており、神戸など遠くからお見えになる常連の方もいらっしゃいます。鑑賞会のほかにも、レコード会社OBで、多様な音楽分野のオーソリティの方に、レコード史などについて深く語っていただく講演会なども行っています。またアーティストの方も多数プライベートでいらっしゃいますが、時にはゲストとしてミニコンサートをやっていただくこともあります。

これからのテーマは、SPレコード2万枚のコレクションをどう活かすか。ソフトの切り口はさまざまですから、いろんな時代の特徴ある音楽を、来館者にじっくり楽しんでいただけるように、企画していきたいですね。大型のイベントで



花火を上げるのではなく、息の長い活動をしっかり続けていく考えです。金沢らしくていいじゃないですか。

「金沢蓄音器館」概要

所在地： 〒920-0902 石川県金沢市尾張町2-11-21
TEL. 076-232-3066 FAX. 076-232-3079
(JR金沢駅より複数のバス路線有り・「尾張町」または「橋場町」下車 徒歩3分)
ホームページ： <http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/chikuonki/>
E-mail： chikuonki@city.kanazawa.ishikawa.jp
開館時間： 10:00～17:30(入館17:00まで)
休館日： 年末年始(12月29日～1月3日)
展示替えによる不定期の休館あり
観覧料： 一般・大学生300円/団体(20名以上)250円/65歳以上200円
高校生以下は無料
特別展についてはそのつど料金を設定



豊富なSPレコードの音源をデータベース化

昭和館(東京・九段)

東京・九段の「昭和館」は、日本の戦中・戦後の国民生活を伝える多様な資料や情報を収集、保存、展示する施設です。ここでは、音楽評論家の前沢健哉氏のコレクションから35,000枚ものSPレコードを資料として所蔵しています。楽曲数は、明治37年～昭和37年頃の、歌謡曲、童謡、唱歌等あらゆるジャンルを網羅する約60,000曲に及びます。昭和館では、うち約6,000曲を音源データベース化し(04年10月現在)、5Fの映像・音響室で一般の方々の鑑賞用に開放しています。歌詞カードなど付属印刷物が現存するものは、鑑賞の際に画面に表示されるものもあります。

タッチパネル式の検索端末が十数台設置された映像・音響室には、50～60代の方々が多く訪れ、当手を懐かしみ熱心に楽

曲を楽しまれています。また若いレコードファンの姿も見受けられます。

データベース化は、昭和10～30年代の童謡や唱歌など一般的な楽曲から進められてきました。最近では、幼い頃の思い出の曲をリクエストされる方も多いため、要望に応じてさらに進行中です。

昭和館の公式サイト(<http://www.showakan.go.jp/>)では、鑑賞できる楽曲の目録も紹介しています。



「昭和館」概要

所在地： 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL. 03-3222-2577 FAX. 03-3222-2575
(九段下駅(地下鉄東西線・半蔵門線・新宿線)4番出口 徒歩1分、JR飯田橋駅 徒歩約10分)
開館時間： 10:00～17:30(入館時間は17:00まで)
休館日： 月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日)、12月28日から1月4日、3月31日

入場料

	個人	団体 (20名以上団体扱い)
65歳以上	270円	230円
大人	300円	230円
高校・大学生	150円	110円
小・中学生	80円	60円



フォーク&ニューミュージック資料館 音楽・レコード業界の共有財産として

(株)ジャパニーズ・ドリーム
音楽総合研究所
代表取締役 富澤 一誠氏

「フォーク&ニューミュージック資料館」は、音楽評論家として活躍する富澤一誠氏が、30年以上にわたって収集した膨大な紙資料を利用可能なかたちに整理し、この9月にオープンしました。70～90年代のフォーク、ニューミュージックの貴重な資料を、2,000を超えるアーティスト別に丁寧に分類。音楽関係者向けに開示しています。

コンサート、ライブのパンフレットから企画書、ライブメモ、マスコミ関係者向けの資料、専門誌バックナンバー……フォーク、ニューミュージックの、勃興期からの熱気を今に伝える豊富な資料の数々には圧倒され、思わず見入ってしまうほど。音楽関係者なら、何度も訪れたくなる深い魅力に満ちています。

富澤氏に資料館のできた背景から、期待する活用方法、これからの役割、託された思いなどを伺いました。

Q レコード会社やプロダクションにも残っていないような貴重な資料が豊富にあります。どういうきっかけで収集されたのですか？

A 私が30年以上前に、フォークソングから評論活動をスタートした当時は、まとまった資料もなく、仕事用に、レコード会社からの手書き資料など、あらゆる紙資料を取っておく必要がありました。他で保存していれば、自分が収集することもなかったのですが、文化資料を網羅する大宅壮一文庫にもありませんでした。保存するうちに、10年、20年と経ち、膨大な量になりました。81年頃に住んでいた家では、部屋が資料の重みで傾き、戸が開かなくなっ

たこともあります。庭に物置を作っても溜まる一方で、捨てることも検討せざるを得ませんでした。



Q 捨てずに取っておかれたからこそ、豊かな文化的財産が、資料館というかたちで日の目を見ることができました。

A 97年に引っ越して、地下室に資料を保存していました。湿気のために状態が悪くなる兆候が出たため、音楽制作者連盟（音制連）の協力を得て、倉庫に保管していただけることになりました。その頃、大阪でミュージアムを作る構想があり、そこに寄贈することでまとまりかけたのですが、バブル崩壊で立ち消えになってしまいます。データベース化も1億円以上かかるため、断念しました。



またも、捨てるかどうかの決断を迫られましたが、最近、兄が定年退職だと聞き、普通であれば自分も定年に近い、やるなら今しかない、と資料の整理を決意しました。1年前に引っ越した、今の家の比較的広い地下室を使うことにして、音制連の倉庫から資料を運んできて、スタッフ10名で約4か月間整理に没頭。ようやく閲覧できる状態にできたのです。

Q ここまで大変な苦勞をなさった、思いの強さには頭が下がります。

A 最初は私個人の仕事用の資料でしたが、積み重ねるうちに、私的な保管物ではなく、音楽関係者全体の共有財産になったと思います。皆で有効に活用できる仕組みを作ることが大切だという思いがありました。

Q 具体的にはどのような活用方法をお考えでしょうか？

A まずは、マーケティングへの利用を構想しています。CDの販売が停滞するなか、団塊の世代をはじめ、フォーク、ニューミュージックを聴いていたエルダー層の市場を活性化できれば、新しい需要の掘り起こしにつながります。その仕掛けづくりに利用できると考えています。

私自身、自分の担当するラジオや有線の番組等で、自著をもとに過去のヒット曲を解説しながら紹介するという試みを行っています。また複数のラジオやテレビ番組・モバイル系でも、ここの資料を活用したプログラムづくりが進行しています。

このほかにも、アーティストのムック本や音楽史のような書籍制作にも活用できるでしょう。メディア関係者を中心に、大いに活用してほしいと思います。

Q 開館して日は浅いですが、反響はいかがですか？

A 音楽業界関係者の方は、まずご自身が担当されたり、関わったアーティストの資料に見入られますね。自分が手書きで作った資料が残っていると、大変懐かしがられます。皆さん、急に静かになってじっくりと目を通されますよ。

ある新聞記者の方が訪問された時には、「おーっ」と声が上がりました。資料の幅広さ、他にないものがあるということで、驚かれたそうです。

これからはRIAJさんを含め、関係者の皆さんとともに、もっと有効な利用法を模索していく考えです。また維持管理できる体制が整い、軌道に乗ってきたら一般公開や、異なるジャンルの同様な資料を集めている方との連携なども視野に入れたと思います。皆さんにどんどん足を運んでいただき、この資料を活かす知恵を出していただけたら有難いですね。

ここに保管されている資料は、私個人のものではなく、音楽業界の貴重な“共有財産”です。この共有財産を管理・運営していくために、ぜひ皆さんのサポートをお願いします。

「フォーク&ニューミュージック資料館」概要

所在地： 〒155-0033 東京都世田谷区代田3-55-2 B1
(株)ジャパニーズ・ドリーム音楽総合研究所内
TEL 03-5787-3283 FAX 03-3410-2831
(小田急線世田谷代田駅 徒歩5分)

開示資料： ・70～90年代にかけて活動したフォーク、ニューミュージックのアーティストに関する紙資料
・時代を彩ったコンサート、ライブのパンフレット
・当時の各レコード・レーベルの発行情報誌
・当地イベントによる定期刊行物
・各種フォーク、ニューミュージックの専門誌バックナンバー
(新譜ジャーナル、guts、ヤングギター、ヤングフォーク、ライトミュージック、GB、ベストヒットなど)
・各種アーティスト本(約2,000冊)

利用規約： ● 利用対象

- ・法人契約者のみ(部署別でのご契約)
- ・入会金：10万円(入会時のみ・税別)
- ・年会費：5万円(税別)

● 資料閲覧概要

- ・入館料：1回につき1,000円
- ・閲覧可能日・時間：毎週木・金14:00～18:00のみ(要電話予約)
- ・電話受付日・時間：月～金11:00～12:00、14:00～17:00
- ・資料複写：1枚100円(A4・B4の2サイズに対応)

● FAX・郵送による情報提供

- ・上記電話受付日・時間内で問い合わせに対応し、必要資料をFAX・郵送で提供
- ・郵送複写料金：複写料金(×枚数)＋郵送実費＋手数料700円
- ・FAXサービス料金：送信資料代金1枚300円(検索・記事複写料金含む)＋通信手数料1件500円(枚数制限なし)

● データの原稿化

- ・上記電話受付日・時間内で問い合わせに対応し、即時使用が困難なデータを原稿化して提供

● 利用料金：1件5,000円～(内容により変動/検索料・原稿作成料・資料複写料・送料または郵送料込み)





前田 哲男(まえだ てつお)

1961年和歌山県出身。84年司法試験合格。85年東京大学法学部卒。87年弁護士登録。以後、映像、レコード、ゲームソフト、ソフトウェア、書籍等の著作権関係を中心とする法律事務に携わる。現在、当協会顧問弁護士を務めるほか、文化審議会著作権分科会専門委員、早稲田大学社会人大学院非常勤講師、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会理事、不正商品対策協議会監事、社団法人映画産業団体連合会監事などを兼任。

著作権の制限規定 ②

9月号に引き続き、「私的複製」の問題を考えたい。

自分が買ったCDを、電車の中で聞くためにMDに複製する。これは私的複製として許されよう。お父さんが買ったCDを、息子がMDに複製して聞くことも、まあOKだろう。

しかし、AさんとBさんが、二人ともあるアーティストの新作アルバムCDを欲しいと思っているとしよう。お金を節約するために、二人で半額ずつ出し合ってCDを1枚購入し、それをCD-Rに焼いて、一人は購入したCDそのものを、もう一人が複製CD-Rを持つ。そのようにして、あたかもそれぞれがCDを購入したのと同じように、好きな時に聞くことができるようにする。実際にありがちなことだろうが、このような複製を自由とする合理的な根拠は、どこにあるだろうか？

ある人は、正当化の根拠として「取引コスト」を主張するかも知れない。友人間での小規模な複製についてもいちいち権利者の許諾が必要だとすると、権利者を捜して許諾申請をし、交渉するコストがかかってしまう。わずかな複製許諾料が権利者に入るとしても、それを上回る取引コストがかかるのなら、むしろ、その程度の複製は自由としてしまったほうが、社会全体としてプラスになる、という考え方だ。

しかし、この考え方は、少なくとも上記のAさん・Bさんのケースには当たらない。AさんとBさんがともに新作アルバムを欲しいと思っているのなら、二人ともレコード店で1枚ずつ購

入すればよい。一人が購入し、もう一人がCD-Rに複製する、その複製の許諾を得るための「取引コスト」を考慮する必要は、どこにもない。商業用CD2枚分の需要があるのに、1枚の購入で済ませ、あとはコピーで賄うことが「私的複製」の名のもとに許容されるとすれば、どこかが根本的におかしいのではないだろうか。

「ふしぎなポケット」という童謡がある。「ぞうさん」などでも有名な、まど・みちお氏の作詞だ。「ポケットのなかにはビスケットが ひとつ ポケットを たたくとビスケットは ふたつ」という歌詞に、幼心に夢をふくらませた経験は、多くの人が共有しているだろう。

しかし、そんなポケットがもし本当にあったら、ビスケット製造会社は困る。増えたビスケットを友達に配られたら、もっと大変だ。

CDを増やせる「ふしぎなポケット」は、現実に存在している。そして、ビスケットを増やされるよりも、CDを増やされるほうが影響は深刻なのだ。

Topics & Information

「トーク&コンサート2004 in 千葉」開催

10月15日、千葉県教育会館において、当協会を含む音楽関係9団体が構成する不法録音物対策委員会の主催による「トーク&コンサート2004 in 千葉」が開催されました。

「トーク&コンサート」は同委員会が展開する「不法録音物撲滅キャンペーン」の一環として、カラオケや各種音楽教室の関係者を対象に、著作権の大切さを伝えるために開催しているイベントで、今年で14回目を迎えました。

今回は「あふれる想い、メロディー……あなたの耳に届くまで」と題して、音楽創作活動の過程を描いたビデオの上映や出演者によるトークショー、作曲家の鈴木淳氏による歌唱レッスン、歌手の椎名佐千子さんのミニコンサートが行われ、約500名の入場者で満員となった会場は大いに盛り上がりました。



コンサートの様子

信州大学講義に講師を派遣

信州大学の経済学部では、毎年後期に「産業論特論」という授業を行っていますが、今年度は、「情報産業の未来と知的財産権」というテーマが採り上げられています。



講義の様子

この授業は外部の講師によって行われますが、10月20日の授業には当協会の

今村二郎広報部担当部長が出講し、「レコード産業の歴史～現状～将来、知的財産戦略とコンテンツ産業振興政策」等についての話をしました。

授業は地元の市民にも公開されており、受講した約400名の学生の他、約10名の一般市民の方も興味深く聴講されていました。

当協会は、レコード産業に対する理解を深めていただくためにも、このような活動を今後とも継続していきます。

「第1回東京アジア・ミュージックマーケット」開催

(財)音楽産業・文化振興財団(PROMIC)主催による「第1回東京アジア・ミュージックマーケット」が、10月21日～23日、六本木と渋谷において開催されました。これは、アジア最大の映画の祭典「東京国際映画祭」との連携企画で、アジアの音楽関係者が東京に一堂に会し、アジアの音楽産業の発展と、相互の連携を促進することを目的に開催されたものです。

期間中は、韓国、中国、マレーシア、タイなどからインディーズ系バンドを招いてのライブや、音楽関係者を対象にしたマーケット事業、「モバイル音楽コンテンツ・ビジネスの現状と未来」と題した講演、トークイベントが開催されました。このうちマーケット事業では、六本木アカデミーヒルズに設けられた約30のブースにて、各国の音楽事業者によるトレードショーが行われ、当協会も出展しました。



トレードショーの様子

中国音像協会幹部来会

「東京アジア・ミュージックマーケット」の開催にあわせて、中国からは、ライブショーケース、カンファレンス、マーケット等に参加するために、中国の音楽と映像関係の産業を代表する「中国音像協会」の使節団が来日しました。

当協会は、10月22日、劉会長を代表とする中国音像協会の幹部の来訪を受け、将来に向けた両国間の音楽文化交流のための意見交換を行いました。



来会を記念して

東京都北区東十条小学校で公開授業を実施

10月27日、東京都北区立東十条小学校において、当協会の高山美登里広報部主任が、音楽著作権に関する公開授業を行いました。

本授業は、小学生、保護者、地域の学校関係者に、授業を通じて音楽の著作権について考えてもらうことで、情報社会のモラルを学び、よりよい社会をつくろうとする意欲を高めることを目的としたものです。

第6学年のクラスで行われたこの授業では、当協会ホームページ内の「音楽CDができるまで」を資料として、児童たちに音楽製作に関わる人々の努力を伝え、著作権を守るために自分たちができることやルールを守ることの必要性などについて意見を出してもらいました。



公開授業の様子

「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2004」開催

当協会加盟26社は、10月28日～11月10日の2週間、インターネットを利用した通信販売による「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2004」を開催しました。



この廃盤セールは、音楽・レコードファンの皆様へ日頃の感謝の気持ちを込めて当協会加盟各社のレコードを特別価格で提供するもので、1992年から毎年秋に実施していましたが、今年度は秋と春の2回開催となっております。第1回の期間中は大変多くの方にアクセスいただき、ご好評を頂きました。なお、第2回の概要については以下の通りです。

■開催日程：

第2回 2005年1月27日(木)～2月9日(水)

11月11日(木)から告知サイト開始、1月12日(水)から事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は、1月27日(木)午前9時から開始します(先着順)。

■出品数：

3,500タイトル 50,000枚(予定)

■販売価格：

廃盤：定価の70%OFF

※ その他、輸入盤・時限再販期間経過商品を割引特価で販売。

■URL：

<http://fair.jmd.ne.jp>

※ 詳細はホームページをご覧ください。

■お問い合わせ先：

Eメール：fair@jmd.ne.jp

「聴いて観よう！音楽DVD2004」キャンペーン実施のお知らせ

当協会加盟42社は、音楽DVDビデオの販売促進のため、11月16日(火)～1月15日(土)の2か月にわたり「聴いて観よう！音楽DVD2004」キャンペーンを実施します。

本キャンペーンは、昨年に続いて第2回目となりますが、幅広いジャンルの商品が発売されている音楽DVDの魅力を活かすことを目的としています。今年はレコード販売店への来客増加を新たな目標とし、音楽ユーザーやレコード販売店のご要望も踏まえ、参加店数・景品等の規模を倍増して実施します。また今回は、携帯電話・パソコンによるWebでの受付を行い、より気軽に応募できる内容になりました。

当協会では、このキャンペーンを年末年始商戦時期の販売店支援策として展開するとともに、これを通じて音楽DVDマーケットのさらなる拡大につなげていきたいと考えております。概要は以下の通りです。

■実施期間：

2004年11月16日(火)～2005年1月15日(土)
(お客様応募締切：2005年1月31日(月))

■概要：

- ・音楽DVD購入者に専用応募ハガキを配付し、応募の中から抽選で景品をプレゼント(携帯電話・パソコンによるWeb応募受付も実施)。
- ・キャンペーン期間中に購入可能な音楽DVD(邦楽・洋楽・クラシック・ジャズ・カラオケ等)全てが対象。
- ・11月8日(月)～11月28日(日)、Yahoo!ミュージックにてバナー告知を実施。

■景品：

- ・Aコース
第19回日本ゴールドディスク大賞授賞式招待券
…100組200名様
- ・Bコース
(株)東芝 ポータブルDVDプレーヤー(液晶モニター付)
…30名様
- ・Cコース
ソニー(株)液晶テレビ
…30名様
- ・Dコース
日本ビクター(株)ミニコンポ(DVD/MDシステム)
…30名様
- ・Eコース
音楽ギフトカード 2,000円分
…1,000名様

※ 当協会Webサイト(URL <http://www.riaj.or.jp/>)「聴いて観よう!音楽DVD2004」告知ページにて、キャンペーン参加店の店名、住所、電話番号を公開。

当協会役員人事

<役員>

9月28日付の小林敏雄理事(エイベックス(株)前代表取締役社長)の退任を受け、10月20日付で下記の役員人事が承認されましたので、お知らせいたします。

(10月20日付)

新任：

理事 稲垣 博司

エイベックス(株) 代表取締役副会長

<事務局>

(11月1日付)

1. 生野 秀年

[新職] 専務理事

[旧職] 常務理事

2. 田中 純一

[新職] 常務理事兼総務部部长兼情報・技術部部长

[旧職] 理事 事務局長兼総務部部长兼情報・技術部部长

3. 高杉 健二

[新職] 事務局長兼法務部部长

[旧職] 法務部部长

※ これにより、当協会の常勤理事は、田辺攻専務理事(上席専務理事)、生野秀年専務理事、田中純一常務理事の、専務理事2名、常務理事1名体制となります。

● 2004年10月会議メモ

10・6 マーケティング委員会

10・8 情報・技術委員会

広報委員会

レコード倫理審査会

10・12 法制委員会

10・22 執行委員会

10・29 理事会

IFPI、違法音楽ファイル交換に対する 法的手段を強化

10月7日、IFPIは違法音楽ファイル交換に対する法的措置を強化し、イギリスとフランスにおいて初めて、音楽を違法にアップロードしていたユーザーに対する、459件の訴訟を起こしたことを発表しました。

ヨーロッパ6カ国で新たに訴訟数百件を提起

IFPIは、今回の個人ユーザー提訴は継続的キャンペーンの一環として、さらに強化していくと同時に、今後数カ月以内には新たな国に拡大していくと警告しています。同時に、IFPIでは、違法な音楽ファイル交換を行って法的措置を受けるというリスクを負うよりも、オンラインで合法的に音楽を購入するよう音楽ファンに呼びかけています。現在、ヨーロッパには100以上の合法音楽サイトが存在し、100万曲を超える楽曲が提供されています。

今回の訴訟は、2004年3月にヨーロッパの音楽産業が違法ファイル交換ユーザーへの訴訟を開始して以来、アメリカ以外で提起された訴訟の中で最大規模となります。ヨーロッパ6カ国でこれまでに提起された訴訟件数は、合計650件以上に上ります。イギリスやフランス以外でも、イタリア、デンマーク、ドイツで同様の訴訟が行われており、このキャンペーンはオーストリアにも広がっています。

刑事、民事を含む今回の訴訟は、著作権のある数百の音楽ファイルをインターネット上のファイル交換ネットワークにおいて公開し、権利者の許諾なしに世界中の数万、数百万もの人々に提供していたユーザーに対して提起されたものです。被告は平均で数千ユーロの損害賠償を請求されることとなります。

同様の訴訟ですでに和解が成立したいくつかの国々では、身元が特定されたユーザーが賠償金の支払いを行っており、今年3月に行われた訴訟の場合、ドイツとデンマークの80人以上のユーザーが、最大で13,000ユーロを支払いました。

今回の訴訟で被告となっているのは、主要な違法ファイル交換サービスで音楽ファイルをアップロードしていたユーザーです。最大規模のファイル交換サービスであるKaZaAでは、音楽業界による訴訟を機にユーザー数が減少の傾向にあり、同時アクセスユーザー数は今年1月よりも20%少ない、240万と

なっています。

このほか、EDonkey/eMule、Gnutella、WinMx、OpenNap、DirectConnectといったファイル交換サービスのユーザーが、現在訴訟の対象となっています。これは、どのサービスを利用しようとも、不正なアップロードを行うユーザーは法的措置から逃れることはできないという警告なのです。

オーストリアでは100件、デンマークでは174件、フランスでは50件、ドイツでは100件、イタリアでは7件、イギリスでは28件の訴訟が提起されています。また、今年3月にはヨーロッパとカナダで、合計247件の訴訟が提起されました。アメリカでは昨年1年間で5,700件もの法的手段が講じられています。

IFPI会長兼CEOのジェイ・バーマン氏は次のように述べています。

「訴訟は私たちにとって最終手段なのです。我々は意識啓発のためのキャンペーンを長期にわたって行ってきました。同時に法的手段も辞さないという警告を繰り返し発し、違法ファイル交換が音楽産業に与える損害について、1年以上議論を続けてきました。また、違法ファイル交換サービスを提供する企業を訪れ、各サービス上で行われている違法行為を阻止するように要望し、違法ファイル交換サービスを利用するユーザーに対しても直接、インスタントメッセージを数百万通も送り続けてきました。

そして、今ついに法律が執行されるべき時がやってきたのです。違法ファイル交換をこれ以上許すわけにはいきません。音楽を愛する人ならオンライン上で合法的に購入するべきであり、違法ファイル交換は許されるべきではありません。これ以上違法なファイル交換を続けることは、すなわち著作権を盗むことであり、法的措置を受ける結果となるのです」

(IFPI プレスリリース 04.10.7)

Monthly Production Report

2004年9月度レコード生産実績

9月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比90%の2,919万枚・巻、金額で前年同月比92%の362億円となりました。

このうち、音楽ビデオは、数量で前年同月比153%の283万枚・巻、金額で前年同月比119%の42億円となっています。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			9月実績						2004年(1月~9月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シン	8cmCD	邦	1,014	4	30%	97	0	29%	12,012	5	98%	1,082	0	46%
		洋	8	0	3%	1	0	6%	1,487	1	244%	139	0	296%
		計	1,022	4	28%	99	0	27%	13,499	6	105%	1,221	0	51%
ン	12cmCD	邦	4,474	17	99%	3,537	11	101%	48,037	21	94%	36,854	14	95%
		洋	34	0	39%	26	0	35%	527	0	66%	429	0	64%
		計	4,508	17	97%	3,563	11	99%	48,563	21	94%	37,282	14	94%
ル	小計	邦	5,488	21	69%	3,634	11	94%	60,048	26	95%	37,936	14	92%
		洋	42	0	12%	28	0	29%	2,014	1	143%	567	0	79%
		計	5,530	21	67%	3,662	11	93%	62,062	27	96%	38,503	14	92%
12cmCD アルバム	邦	12,349	47	88%	17,271	54	81%	101,885	45	95%	148,049	55	94%	
	洋	7,822	30	108%	10,455	33	110%	54,551	24	102%	75,991	28	98%	
	計	20,171	77	95%	27,727	87	90%	156,436	69	97%	224,040	83	95%	
CD 合計	邦	17,836	68	82%	20,905	65	83%	161,933	71	95%	185,985	69	93%	
	洋	7,864	30	104%	10,483	33	109%	56,565	25	103%	76,558	28	98%	
	計	25,700	97	87%	31,388	98	90%	218,498	96	97%	262,543	98	95%	
アナログ ディスク	邦	11	0	61%	25	0	100%	588	0	173%	236	0	63%	
	洋	6	0	74%	6	0	71%	222	0	331%	169	0	231%	
	計	17	0	65%	31	0	92%	811	0	199%	405	0	91%	
カセット テープ	邦	608	2	57%	554	2	63%	6,979	3	78%	5,652	2	77%	
	洋	1	0	182%	1	0	129%	13	0	74%	10	0	77%	
	計	609	2	57%	554	2	63%	6,992	3	78%	5,662	2	77%	
その他	邦	19	0	177%	19	0	99%	181	0	79%	205	0	114%	
	洋	17	0	58%	33	0	100%	204	0	67%	391	0	83%	
	計	36	0	89%	53	0	100%	385	0	72%	596	0	92%	
合計	邦	18,475	70	80%	21,503	67	82%	169,681	75	94%	192,077	71	93%	
	洋	7,888	30	104%	10,523	33	109%	57,004	25	103%	77,129	29	98%	
	計	26,362	100	86%	32,026	100	90%	226,685	100	96%	269,206	100	94%	

● 音楽ビデオ

			9月実績						2004年(1月~9月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			2,746	97	163%	3,990	96	130%	21,164	96	123%	34,225	95	109%
LD・その他			43	2	56%	59	1	42%	549	2	72%	838	2	61%
テープ			39	1	49%	106	3	38%	389	2	35%	869	2	28%
合計			2,829	100	153%	4,155	100	119%	22,102	100	116%	35,932	100	100%

● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

			9月実績						2004年(1月~9月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			26,362	90	86%	32,026	89	90%	226,685	91	96%	269,206	88	94%
音楽ビデオ			2,829	10	153%	4,155	11	119%	22,102	9	116%	35,932	12	100%
合計			29,191	100	90%	36,182	100	92%	248,787	100	98%	305,137	100	95%

● ビデオ(含音楽ビデオ)

			9月実績						2004年(1月~9月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			11,354	95	102%	15,184	87	108%	95,693	95	138%	123,561	86	130%
LD・その他			43	0	47%	59	0	39%	596	1	58%	874	1	55%
テープ			546	5	65%	2,113	12	71%	4,871	5	65%	18,831	13	68%
合計			11,944	100	99%	17,356	100	101%	101,160	100	130%	143,266	100	115%

● オーディオ/ビデオ合計

			9月実績						2004年(1月~9月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			26,362	69	86%	32,026	65	90%	226,685	69	96%	269,206	65	94%
ビデオ			11,944	31	99%	17,356	35	101%	101,160	31	130%	143,266	35	115%
合計			38,306	100	90%	49,382	100	93%	327,845	100	105%	412,472	100	100%

備考 1. 上記実績は、会員会社「42社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

世界各国のレコード売上

9月30日、IFPI(国際レコード産業連盟)は2004年上半期(1~6月)の世界音楽売上を発表しました。世界のレコード売上は前年同期比で、数量は1.7%の増加、金額は1.3%の減少となりました。

●2004年1月~6月

国名	数量(百万枚・巻)			売上総額		成長率(%)	
	シングル	C D	音楽DVD	(百万US\$)	(各国の通貨・百万)	数量	各国通貨
アメリカ	4.5	329.0	11.2	5,049.0	5,049.0	5.0%	3.9%
日本	42.9	94.6	8.6	2,433.5	264,008.7	1.7%	-0.3%
イギリス	15.5	88.0	2.4	1,255.5	690.5	-0.9%	-0.2%
ドイツ	13.3	60.5	4.4	892.7	732.0	-2.4%	-5.2%
フランス	12.7	43.2	3.7	838.9	687.9	-18.9%	-21.9%
イタリア	0.9	16.0	0.8	300.3	246.3	-14.4%	-7.1%
オーストラリア	4.9	18.6	1.9	282.1	380.8	-5.6%	-9.0%
スペイン	0.9	19.6	1.7	260.3	213.5	-18.3%	-10.6%
カナダ	0.2	20.3	1.6	253.7	339.9	1.2%	-0.4%
オランダ	1.2	12.9	2.6	224.8	184.3	-4.3%	-8.4%
メキシコ	0.09	22.3	0.7	153.3	1,714.0	19.3%	18.6%
ブラジル	0.001	31.0	2.5	152.7	453.5	36.0%	39.3%
ロシア	-	17.0	-	148.0	4,259.4	-0.1%	29.0%
オーストリア	0.8	5.9	0.3	126.3	103.6	-11.9%	-10.5%
ベルギー	1.9	7.7	0.6	120.1	98.5	35.9%	-1.7%
スウェーデン	0.7	9.4	0.2	117.7	879.4	-10.4%	-12.9%
ノルウェー	0.5	5.6	0.1	106.3	731.7	-5.5%	-8.3%
中国	-	23.8	22.5	101.6	841.3	27.6%	13.3%
トルコ	-	6.9	-	84.2	117,173,283.4	39.7%	-7.8%
南アフリカ	0.05	5.5	0.2	83.0	555.8	8.0%	8.8%
インド	-	9.5	-	78.6	3,541.3	0.1%	0.4%
台湾	0.1	7.5	0.4	75.2	2,513.4	2.9%	8.0%
デンマーク	0.1	3.8	0.1	72.8	442.2	-12.2%	-11.8%
韓国	0.03	5.9	0.07	65.8	76,804.9	-29.6%	-25.3%
タイ	-	6.0	7.6	65.2	2,586.6	-17.5%	-16.3%
フィンランド	0.2	4.1	0.1	57.7	47.3	-9.2%	-11.7%
ポルトガル	0.8	4.0	0.4	55.8	45.8	-15.1%	-24.7%
アイルランド	0.6	3.0	0.05	50.8	41.6	6.7%	-1.3%
ニュージーランド	0.4	2.9	0.2	49.1	75.6	-4.0%	-6.8%
インドネシア	-	2.2	0.6	46.5	406,066.1	32.0%	40.2%
ギリシャ	0.4	3.0	0.2	40.0	32.8	25.6%	9.0%
ポーランド	0.04	4.5	0.2	39.6	153.0	-10.8%	3.6%
香港	0.004	4.3	0.4	37.2	289.7	-16.9%	-21.5%
アルゼンチン	0.004	5.4	0.2	35.0	101.1	24.0%	41.0%
ウクライナ	0.06	4.3	0.01	25.2	134.4	28.7%	23.4%
ハンガリー	0.01	1.2	0.07	23.4	4,873.2	-12.9%	-4.3%
シンガポール	0.01	2.4	0.2	22.9	39.0	0.2%	-2.8%
コロンビア	0.005	2.3	0.06	19.9	53,810.7	-19.1%	-14.6%
マレーシア	0.002	1.3	0.3	16.6	62.9	6.7%	-0.3%
チェコ	0.02	1.3	0.07	16.0	424.3	9.4%	5.7%
チリ	0.1	1.5	0.2	14.7	8,965.4	-30.7%	-25.8%
アラブ首長国連邦	-	0.7	-	13.8	50.7	-4.9%	4.5%
フィリピン	0.007	1.8	0.5	13.7	768.6	-10.2%	-8.9%
サウジアラビア	-	0.2	-	13.0	48.6	0.9%	3.2%
中央アメリカ	-	2.2	0.09	12.8	12.8	187.5%	17.2%
ルーマニア	-	1.4	0.006	12.2	403,643.6	18.3%	-3.0%
ジンバブエ	1.2	0.07	-	8.0	35,036.0	-	-
ベネズエラ	-	1.5	0.03	7.0	13,050.3	617.1%	321.5%
エジプト	-	0.1	-	5.7	35.5	-20.8%	-20.4%
クウェート	-	0.1	-	4.1	1.2	-0.6%	12.0%
スロバキア	-	0.3	0.01	3.3	108.3	-11.1%	-15.6%
レバノン	-	0.2	-	3.3	4,995.9	-3.0%	11.5%
エクアドル	-	0.2	0.02	2.2	54,145.1	-69.7%	-36.8%
その他調整	-0.133	-6.57	0.114	-75.0	58.0	99.6%	96.8%
合計	105.0	920.4	78.2	13,916.1	-	-	-

(注) 1. 米ドル換算レートはIMF(国際通貨基金)より算出。
2. カセットシングル、CDシングルは「シングル」に含む。

資料: IFPI(国際レコード産業連盟)

Gold Album +... 認定

2004年9月度

9月度ゴールドアルバム等認定では、アヴリル・ラヴィーン「アンダー・マイ・スキン」、Ryu / Sun「冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック」がミリオンを、Utada「EXODUS」がトリプル・プラチナを達成しました。

邦楽

アルバム

● ダブル・プラチナ

EXPLORER	横原敬之	2004.08.11	TO
----------	------	------------	----

● プラチナ

MELODY	175R	2004.09.01	TO
Peace Of Mind	稲葉浩志	2004.09.22	BM
HEART of GOLD~STREET FUTURE OPERA BEAT POPS~	EXILE	2004.09.29	AVT
Completely Recorded	横原敬之	2004.08.25	WJ
1~ONE~	ゆず	2004.09.15	SN

● ゴールド

merry merry	EGO-WRAPPIN'	2004.09.08	TF
日々燦々	河口恭吾	2004.09.23	WJ
湘南乃風~ラガバラード~	湘南乃風	2004.08.18	TF
TOKIO10	TOKIO	2004.09.01	UM
朧月夜~祈り	中島美嘉	2004.09.15	AI
演歌名曲コレクション4 番場の忠太郎	氷川きよし	2004.09.01	C
QUEENDOM	PUSHIM	2004.08.04	KS
THE MIDDLE WAY	BRAHMAN	2004.09.29	TF
マツケンサンバII	松平 健	2004.07.07	GN
初恋	Ryu	2004.08.04	CR

シングル

● ダブル・プラチナ

かたちあるもの	柴咲コウ	2004.08.11	UM
---------	------	------------	----

● プラチナ

Mickey	Gorie with Jasmine & Joann	2004.09.08	YR
CAROLS	浜崎あゆみ	2004.09.29	AVT
ARIGATO	B'z	2004.09.01	BM

● ゴールド

花風	aiko	2004.09.01	PC
君の街まで	ASIAN KUNG-FU GENERATION	2004.09.23	KS
浪花いろは節	関ジャニ∞(エイト)	2004.09.22	TE
片道切符	北山たけし	2004.04.21	TE
群青日和	東京事変	2004.09.08	TO
QUINCY/コノヨノシルシ	BoA	2004.09.01	AVT
シスター	ボルノグラフィティ	2004.09.08	SE
僕が一番欲しかったもの	横原敬之	2004.07.28	TO

洋楽

アルバム

● ミリオン

アンダー・マイ・スキン	アヴリル・ラヴィーン	2004.05.12	BMG
冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック	Ryu / Sun	2003.07.04	JK

● トリプル・プラチナ

EXODUS	Utada	2004.09.08	UM
--------	-------	------------	----

● ゴールド

オートバイグラフィター	アシュリー・シンプソン	2004.08.25	UM
クロニクル・オヴ・ライフ・アンド・デス	Good Charlotte	2004.09.29	SI
アメリカン・イデオロジ	グリーン・デイ	2004.09.23	WJ
VOL.3:(THE SUBLIMINAL VERSES)	SLIPKNOT	2004.05.21	RR
スウェット	ネリー	2004.09.13	UM
HILARY DUFF	Hilary Duff	2004.09.15	AVT
コントラバンド	ヴェルヴェット・リヴォルヴァー	2004.06.02	BMG
カヴァーズ・レゲエ・ミーツ・R&B/ヒップホップ	VARIOUS	2004.07.28	V
ナンバー・ワン	VARIOUS ARTISTS	2004.08.25	UM
フィール・ベスト	VARIOUS ARTISTS	2004.09.29	TO

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:バーミリオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/EP:アップフロントワークス(ゼティマレーベル)/ES:EPICレコードジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテインメント/GN:ジェネオン エンタテインメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテインメント/JK:ユナイテッド・アジアエンターテインメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MU:ドリーミュージック/ON:ビー・ヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ボニー・キャニオン/PK:ピッコロタウン/PY:プラチニア・エンタテインメント/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー・ジャパン



アンダー・マイ・スキン/
アヴリル・ラヴィーン



冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック/
Ryu / Sun



EXODUS/Utada



EXPLORER/横原敬之



かたちあるもの/柴咲コウ

※ダブル・プラチナ(50万枚)以上の認定を受けた作品のジャケット写真を紹介します。

協会からのお知らせ

Topics & Informationでご紹介した通り、11月16日より、当協会加盟42社による「聴いて観よう！音楽DVD2004」キャンペーンが実施されます。レコード販売店店頭のパスターやPOPが目印です。



Respect Our Music

THE RECORD No.540 2004年11月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修
編集人 田辺 攻
発行日 2004年11月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

台風23号に続いて、新潟県中越地震による大きな被害が報じられています。個人としては本当に小さなことしかできず、日々のニュースを見るにつけ心が痛むばかりですが、被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

(R.O)